



環境リーダーNews

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 「会報」
ホームページ <http://npo-k-leader.net>

2017 1/28
Vol.97
季刊発行 冬号

特集:3面「安全と安心」

第23回「市民環境活動報告会」ご案内

テーマ:「見つけよう!新しい環境活動」～未来のために“Cool Choice”～

実行委員長 田口繁雄

平成28年度・第23回「市民環境活動報告会」を下記の要領にて開催しますのでご案内します。本報告会は、県内で環境保全活動を自主的に行なっている方々に成果や実践体験を発表していただき、発表者の活動発表から新しい環境活動を見つけて、環境活動への意欲を高めていただくことが目的です。今年度は、基調講演、環境活動発表、環境ポスター展示の3部構成です。環境活動に興味がある方、お誘い合せの上、ご参集をお願いします。

■ 開催日時:平成29年3月4日(土) 12:00~16:50

■ 開催場所:JR横浜駅西口徒歩5分「かながわ県民ホール」・2階大ホール

■ 申込不要:参加無料、直接会場へ

■ 環境活動発表:13:25~16:40

1「未来を担う親子で、森・里づくり体験活動」

・プロジェクト地球っ子ひろば ◆代表 射手建雄

2「県立観音崎公園における案内活動について」

・観音崎公園フィールドレンジャーの会 ◆高橋徹男

3「相模原市立環境情報センター・パートナーシップの取り組み」

・相模原市立環境情報センター ◆事務局長 斉藤奈美

4「災害時の水の確保」

～「災害時協力井戸」協力者拡大と看板設置を地域とともに～

・なでしこ防災ネット ◆会長 吉田トシ子

5「“もったいない”から生まれる民際協力」

～リユース&チャリティで進める環境事業～

・認定NPO法人 WE21 ジャパンひらつか ◆副理事長 古屋静江

6「NPO 法人都筑里山倶楽部と調査・観察部会の活動」

～Looking for Sustainable Biodiversity～

・NPO 法人 都筑里山倶楽部調査・観察部会 ◆部会長 河村暢宏

7「東日本大震災がきっかけとなった福島環境カウンセラー協会との交流」

～交流で学んだ、訪問し、交流し、伝えることの大切さ～

・かながわ環境カウンセラー協議会 ◆理事長 河野健三

■ 基調講演:12:05~13:15

「地球温暖化と私たちの未来」

国立環境研究所

気候変動リスク評価研究室長

江守正多氏



■ 環境ポスター展示:随時

「発表者による自主展示」



前年度の市民環境活動報告会会場

【主催】第23回市民環境活動報告会実行委員会

当会、NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会、かながわ地球環境保全推進会議

【後援】神奈川県

県・環境科学センター 第 2 回 スキルアップ講座を受講 12 月 8 日(木)

スキルアップ担当 吉田和史

「環境学習リーダー向けのスキルアップ講座」が、県・環境科学センター主催により、同センターにて開催されました。

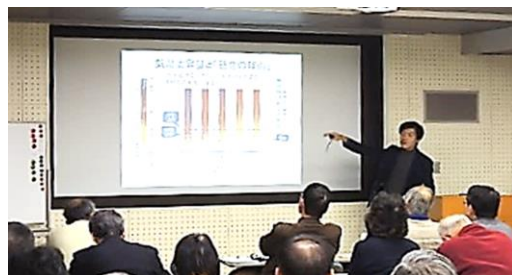
■ 演題：「地球温暖化の現状と将来を考える」

■ 講師： 国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長
江守正多氏

出席者は、既に気候変動（地球温暖化）に予備知識を持って参加していることを踏まえ、気候変動リスクをいかに抑制するか、いかに回避するかを焦点に論じられました。

- ①現状を踏まえると長期目標の気温上昇 2°C 以下の維持は極めてハードルが高い。
- ②社会の強靱性向上、特に途上国の開発のための政策に取り組む重要性。
- ③何を避け、何を守るかは社会の判断による。

これら現状課題への取り組みに対して、江守氏は、地球温暖化抑制の目標達成には、単なる制度や技術の導入ではなく、人々の世界観の変化を伴う社会の「大転換」が必要であると結論されました。この「大転換」とは、「分煙革命」を事例に挙げ、次のプロセスを論じられたことが印象的でした。



講演する江守正多氏
(環境科学センター提供)

- ①分煙は強要ではなく、マナーと認識された。
- ②仕組みができて経済（客の増加、利益）が動けば無関心な人達も追従した。
- ③行動が常識になれば、罰則も必要なかった。

今や分煙は飲食店などで常識となり、社会に広く受益をもたらしている。この「分煙革命の大転換」を、提唱当時は、誰も現在の状態を想像できなかったが、現在は実現できている。江守氏は世界観の変化を、この具体例で強調されました。

今回の講座への出席者は、約 30 名（当会から 20 名）で盛会の講座でした。

環境・エネルギー出前授業

かながわ環境教室

エネルギー部会長 桑原 清

11 月 17 日（木）、18 日（金）、海老名市内の小学校で 5 年生 5 クラス 168 名を対象に、神奈川県のかながわ環境教室の出前授業「大切なエネルギー！私たちにできるエコ」を実施しました。この学校は 5 クラスあるため、17 日に 3 クラス、18 日に 2 クラスと、90 分の授業を 5 回行いました。

挨拶の後、地球温暖化についてパワーポイントで説明しました。また、1950-2100 年の地球の気温上昇の予測も動画で見てもらいました。省エネ実験では、

- ①「40W 電球何人で点くか」、②照明消費電力比較、③ドライヤー消費電力／待機電力測定の 3 つを体験し



ヘアドライヤー消費電力測定



電球種類の消費電力比較

Leader's TOPICS

安全と安心 ～実験教室へのリスク対応～

安全担当理事・子どもサイエンス部会 濱辺 謙吉



「安全と安心」は何よりも優先されるべきことに疑問の余地はありません。でも、毎日多くの事故が発生し、残念ながら「危険な事故」が絶えることはありません。

「安全」とは「危険」を防止すること、「危険」とは怪我や損傷を受ける可能性であり、「リスク」とは危険なことが実際に起きる可能性と言えます。事故の多くは、その行為がもたらすかも知れない危険の重大性と危険な状況に陥る可能性を正しく認識していれば防ぐことができるでしょう。しかし、危険な行動を行ったり、危険な状態を見たりしても、それが危険であると気付かないことがあります。自分の身の安全は自分で守ることが基本ですが、危険な行動や状態を危険だと認識できなければ防護処置がとれませんから、その危険認識ができない状態が最も危険だと言えます。

過日、小学校高学年の児童が線香を使う実験の時に、線香の燃焼部分に触れて軽い火傷を負う事故がありました。この子は線香の燃焼部分が熱いことを知らずに触れてしまったようです。私達の常識が子供達の常識である時代は過ぎ去ってしまったのでしょうか。

次に、薬品の取り扱いについてお話いたします。薬品はどんな薬品でも取り扱い方法を間違えると大きな事故に繋がる可能性があります。使用済みのてんぷら油を水酸化ナトリウムで鹸化して石けんを作る教室に参加した

主婦の一人が、自宅でも石けんを作ろうと水酸化ナトリウムを持ち帰りましたが、使う機会がないのでその処理方法の相談を受けました。水酸化ナトリウムは中和して下水に廃棄することができます。一般に、中和剤は塩酸等が紹介されていますが、それ自体が非常に危険ですのでクエン酸を使ってもらうことにしました。作業のリスクと操作方法、身体に付いた時の対処方法等を文書化して送り、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用して何とか無事に処理してもらいましたが、薬品の持ち帰りは厳に慎むべきです。

目は最も傷付きやすい部分なので、小学校では既に水溶液を扱う実験の時には保護メガネを着用するよう指導されているようです。当リーダー会では子供用の安全ゴーグルを用意しましたので、水溶液を使用する実験時には必ず生徒達に着用させてください。

“ご安全に”



江ノ島電鉄にて：筆者

第3回 神奈川県地球温暖化防止活動推進大会 11月29日(火) パネルディスカッションのコーディネーターとして出演

代表理事 柳川三郎

今回の大会は、講演の演目が「近年の気象災害と地球温暖化防止」、活動事例として推進委員3名により「家計も優しい地球温暖化対策活動」「私の地球温暖化防止活動」「地域での地球温暖化防止活動の情報発信」と題した発表がありました。パネルディスカッションでは「推進員の活動のあり方とは」と題して行われ、事務局長により「誤解を超えて」について論説がありました。

討論の場では、地球温暖化の環境への影響、太陽光エネルギーの活用と効果、CO₂の削減量などについて質疑され、学校で子どもたちへの地球温暖化や省エネについての教育の重要性などが議論されました。

最後に、先進国は栄華優先の快適な生活をする時代を終え、日本は、「つつましく、しかも心豊かに」の実践を、世界へ模範として示すべきとの論説がありました。

はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ

平成 28 年度 環境体験教室 報告



実行委員 小林信雄、田口繁雄

洋光台サイエンスクラブの教室は10月～12月に6教室を開催しました。① ルーペ式顕微鏡の教室ではガラス玉の顕微鏡を作って気孔を観察しました。筒を使って改良したので焦点の調整がしやすくなりました。

② カメラは、フィルムからデジタルに進化、今やスマートフォンです。この教室では、始めに写真撮影の原理を学び、カメラの基本型であるファインダーを上から覗くレフレックス型のレンズ付きカメラを作りました。当日は曇り空で十分な画像は撮れませんでした。ジァソ感光紙とカメラを持ち帰りました。この教室は人気が高く満席でした。

③ 食べる植物の教室では、3大穀物、生物多様性、外来植物などを学んだ後、隣接公園に出てイネ科の植物などを観察しました。教室に戻って調理実習として

おにぎり作りに挑戦しました。作ったおにぎりは持ち帰りました。④ 紙漉きのはがき作りは、生徒が少なく、保護者とも一人で2～4枚の年賀のはがきを作りました。

⑤ 入浴剤（バスボム）作りの教室では、始めに身近な薬品の勉強として、生徒が持参した製品容器に示された化学物質の名称や元素記号などを解説しました。バスボム作りでは、生徒たちが自分で重曹とクエン酸を測って、混ぜ合わせ、固めて作りました。環境省発行の「かんたん化学物質ガイド」を、家庭の保存版用に生徒たちに持ち帰ってもらいました。

⑥ 水飲み鳥は、毛細管現象を利用して水の重量移動でシーソー運動し、鳥が水飲む動作を繰り返すものです。水の移動量が少なく、水飲み動作の調節が難しいですが、動き出した水飲み鳥に歓声が上がりました。



①顕微鏡で気孔が見えた、見えた！



②レンズ・カメラを工作中



③手漉きの和紙で年賀はがき作り



④ご飯と海苔で、おにぎり作り



⑤バスボム作りで薬剤を計量



⑥2羽の水飲み鳥が、水飲み競争

写真番号	教室名称	開催日（曜日）	開催部会	主講師
①	ルーペ式顕微鏡で「気孔」を見てみよう	10月29日（土）	廃棄物・自然環境部会	石井 榮
②	太陽の光で写真を写そう	10月30日（日）	エネルギー部会	三田重雄
③	ケナフで「和紙の年賀はがき」を作ろう	11月19日（土）	子どもサイエンス部会長	荒谷輝正
④	食べる植物のことを知ろう	11月26日（土）	自然環境部会	吉岡嗣二郎
⑤	環境にやさしい入浴剤を作ろう	12月3日（土）	会員	飯田富佐江
⑥	水飲み鳥を作ろう	12月10日（土）	廃棄物・自然環境部会	石井 榮



神奈川県立青少年センター・科学体験活動推進協議会

子どもサイエンスフェスティバル

逗子大会 12月17日(土)

「植物のふしぎ発見！」

～ ネイチャーサイエンスを体験 ～

自然環境部会 吉岡嗣二郎

この大会の目的は、子どもたちに、身近にある植物に興味を持ってもらい、植物の特徴や不思議さに気づき理解を深めてもらうことです。植物の生態を頭から教えるのではなく、子どもたちが植物を観察して、自発的に疑問に思ったことを自分で考え、講師と一緒に体験的に学ぶものです。今回は、ナンテン、オニヤブソテツなど4種類の植物を観察、ルーペや顕微鏡も使

って詳しく観察し、不思議に思ったことをメモに取りました。植物に触れ、拡大観察などにより好奇心をもって不思議さを発見して、講師から解説を受けました。子どもたちは、葉脈が3行の様子、葉の気孔を観察、葉裏に胞子を発見、葉の匂いを嗅ぐなどしながら、植物の不思議さを興味深く体験しました。

植物観察の後には、紙切り工作を行いました。この紙切りでは、紙の折り方、ハサミで切り込み方によって、放射状の模様や繰り返し反転する模様など美しい模様が出来上がりました。子どもたちは保護者と一緒に紙切り造形の体験を楽しみました。



▲資料ナンテン
▲講師の解説



▲顕微鏡観察
紙切り工作 ▶



平塚市みずほ小学校・出前授業

「健やか会議」 自然環境部会長 吉田和史

この小学校では、全校生による「健やか会議」を定期的に開催しています。今回は10月18日(火)、テーマは「ストップ!地球温暖化」。当会代表理事の柳川講師から、丹沢と金目川の緑と水の豊かな自然の恵みを題材に、森の大切さ、省エネに心がけることの大切さを、体育館で約430名に分かりやすく語りかけました。講演の後、生徒ISO委員による地球温暖化防止のクイズがあり、ほとんど全員が正解し大歓声があり、有意義な「健やか会議」でした。この小学校は、柳川講師のおひざ元で、度々環境に関する講演を行っ



てきており、生徒たちは顔馴染み。講演を終えた後、全生徒が柳川講師とハイタッチして退場【写真】しました。

藤沢市御所見小学校・出前教室

「手作り顕微鏡」 廃棄物部会長 石井 栄

神奈川県立科学技術アカデミーの体験出前教室を1月12、13日の2日間、御所見小学校にて開催しました。5年生3クラスの各2校時にて「手作り顕微鏡でミクロの世界を探訪しよう」の授業を行いました。始めに、光の性質とレンズの働きを実験で理解した後、児童たちは、ガラス玉を用いた顕微鏡を作って、玉ねぎの細胞などを観察しました。裸眼では見えないミクロの世界の神秘的な美しさに、わぁー見えた!と歓声。最後に、地球環境保全に植物が果たす役割、光合成、気孔の働きなどを解説し、顕微鏡で極微の世界を観察する意義を強調しました。

児童たちが自然の生き物を科学的に探求し、理解する意欲を高めてほしいと願っています。



顕微鏡を覗き見る生徒たち

Welcome 新会員紹介

New face

語り継ぐことの大切さ

約半世紀前の特撮映画「ゴジラ対ヘドラ」を観たことがありますか？、私自身、子どもの時に父に連れられて観に行き、心に深く焼き付いています。また、その時、父の言った「地球は誰のものではない。生きているものたちが手と手を取り合っていかなければならない」この一言に、私は環境に対する意識が芽生えはじめました。家の実家の近くの山の緑は、だんだんと消えつつあります。

ちなみに、冒頭の「ヘドラ」は産業革命以後、多くの化石燃料を使用し、二酸化炭素を空にまき散らし、廃液を川に流し水を汚した「公害」の化身の怪獣です。この背景には、人はいつの間にか自然の恵みに感謝をしなくなり、モノの豊かさが幸せにとって変わってしまったからだと思います。今もたくさんのモノを作り、使えるモノも捨ててしまっている。衣・食・住、どれをとっても「MOTTAINAI」話し。



●PROFILE

- ・出身地：川崎市高津区
- ・現住所：川崎市幸区
- ・生年月：昭和41年11月
- ・現役時：児童教育、スーツアクター等
- ・趣味：映画、演劇、音楽鑑賞等
- ・所属部会：全7部会に入会

山口和之さん

子どもたちの前で教壇に立つ職を選んだのは、そんな理由で毎年、受け持つ子たちと親には、話しをさせてもらっています。私自身は老いて死ぬ、話しをした子どもたちが大人になって、言葉をほんの一瞬でも、思い出して「地球の環境」を考えてもらいたい。

「ヘドラ」は、ゴジラと人間の協力で破壊されました。環境に携わって父の一言が最近分かりはじめたところです。私は、みなさんの足手まといにならないように、いろいろなことを吸収したいと思います。

11～1月の入会者：武澤研二さん（横浜市和泉区）

日本の伝統技術 ユネスコ文化遺産

ケナフで紙漉き和紙のハガキ作り

子どもサイエンス部会長 荒谷輝正

この「手漉き和紙でハガキ作り」体験教室は、日本の伝統技術としてユネスコの無形文化遺産に登録された手法を体験的に学び、紙の歴史や伝統技術の理解を深めるものです。楮（こうぞ）の代わりに畑で栽培し易い、一年草のケナフで和紙を作ることを特徴としており、森林伐採抑制、温暖化抑制に役立つことも併せて学ぶ教室です。

横浜ゴム株式会社 平塚製造所殿

「第8回 Think Eco ひらつか 2016」 11月12日(土)

恒例のイベント「Eco みんなで学ぶ・遊ぶ・楽しむ！」に今年も参加しました。当日は好天に恵まれ、未就学児童から高齢者まで 220 名の方々に紙漉きを体験していただき大盛況でした。和紙に好みのキャラクターを漉き込んでハガキを作りました。ハガキをアイロンで乾燥、郵便番号枠スタンプを押して完成し、持ち帰ってもらいました。スタッフ9名で行いました。



人気の紙漉きブース

平塚市リサイクルプラザ

「第12回くるりんまつり」 12月3日(土)

このリサイクルプラザでは、ごみの資源化や減量化などの啓発活動を広く市民に知ってもらうため、毎年「くるりんまつり」を開催しています。今年もフリーマーケット、古着、古本、模擬店なども催されました。

当会からは、このイベントに環境体験教室として毎年参加しており、今年も子どもサイエンス部会が、「ケナフを使った紙漉き」を実施しました。当会のブースには子どもから大人まで 50 名ほどの方々が訪れ紙漉き体験をしていただきました。紙の繊維も顕微鏡で観察してもらいました。

手漉き和紙ハガキ作り▶



“新会員募集中” 会員の皆様、環境に興味があるお友達を会員にお誘いください。新たな会員を歓迎します。



■教室・イベント情報	開催月日(曜)	開催時間	開催場所	開催担当部会
■かながわ環境教室	2月2日(木)	08:45～15:30	秦野市立西小学校	グリーン部会
■子どもサイエンスフェスティバル	2月11日(土祝)	10:00～15:00	藤沢大会会場	エネルギー部会
■かながわ環境教室	2月14日(火)	10:10～11:50	横須賀市立養護学校	グリーン部会
■植物版画のエコバックを作ろう	2月16日(木)	15:00～17:00	東芝未来科学館	自然環境部会
■ルーペ式顕微鏡を作って「細胞」を見てみよう	2月18日(土)	10:00～12:00	はまぎんこども宇宙科学館	廃棄物・自然環境部会
■サトウキビをかじり、世界の今を知ろう	2月25日(土)	10:00～12:00	はまぎんこども宇宙科学館	グリーン部会
■子どもサイエンスフェスティバル	2月25日(土)	10:00～15:00	秦野大会会場	廃棄物部会
■手作り石けんを楽しもう	3月18日(土)	10:00～12:00	はまぎんこども宇宙科学館	会員
■キッズクラブ出前授業	3月31日(金)	小学校放課後	横浜市立菊名小学校近傍	廃棄物部会
●定例部会情報	開催月日(曜)	開催時間	開催場所	部会長
●エネルギー部会	2月8日(水) 3月8日(水) 4月12日(水)	(勉強会 15:00～) 16:30～17:30	県民センター 705 会議室	桑原 清
●自然環境部会	2月15日(水) 3月15日(水) 4月19日(水)	18:20～20:00	県民センター 10 階 FS	吉田和史
●廃棄物部会	2月15日(水) 3月15日(水) 4月19日(水)	16:00～17:30	県民センター 10 階 FS	石井 榮
●子どもサイエンス部会 ●水環境部会 ●グリーン部会 ●大気環境部会	未定	—	—	荒谷輝正 見上 博 柳川三郎 猪股満智子

県・環境科学センター「環境学習リーダー養成講座」

副代表理事 田口 繁雄

「環境学習リーダー養成講座」の4日目10月22日(土)は、「実践・小学生向け環境体験教室を体験・ストップ地球温暖化」と題して開催されました。

受講生は、午前中に「地球温暖化の基礎知識と取り組みに向けた最新情報」を受講、午後は、当会の講師5名による実践講座を受講しました。この実践講座では、当会が小学校で実施している環境体験教室のカリキュラムを基に、小学生に説明している内容、実験、ワークショップを行いました。受講生には小学生に教える立場になってカリキュラムの実践体験に、熱心に取り組んでいただきました。



受講者によるワークショップ



「生物多様性」と「生物指標」

自然環境部会 吉岡嗣二郎

環境保全の観点から「生物多様性」が重要視されています。生物多様性のことを概ね理解していても、いざ子どもたちに説明しようとするとなかなか難しい面があります。同様に「指標生物」の説明もなかなか難しいところがあります。生物多様性は、「種」、「遺伝子」及び「生態系」の多様性を指しています。一方「指標生物」とは、生物の分布や変化などにより、人の行動（農作業など）や環境の目安にすることがあげられます。身近な活動において、「生物多様性」と「指標生物」をつなぎ合わせることで、より双方が分かりやすくなるのではないかと思います。

生物多様性の「種」の関係では、種がたくさんいることが必要であるとすれば、生物指標として「種の数」を観察調査すれば明らかになることです。

次に、遺伝子の多様性では、同一の種のなかでもわずかな遺伝子の違いが表れ、将来においては種として成立することがあります。生物指標の観察などにおいても同一の種の中でわずかな違いを発見する面白さがあります。

さらに、生態系の多様性では、すみかや生物同士が互いに関連しあっていることは分かっていますが、まだまだ分からないことの方が多い状況です。

指標生物においても同様で、生態系が連携しあって指標としてあらわれることもあれば、連携が崩れたことも生物指標として判断できる場合があります。

皆さんも「生物多様性」と「指標生物」をつなぎ合わせてみてはどうでしょう。



事務局だより

桑原 清

■ 理事会の開催予定

開催場所はいずれも「かながわ県民センター」

- ・2月9日(木) 14時～17時30分、709会議室
- ・3月9日(木) 14時～17時30分、705会議室
- ・4月13日(木) 14時～17時30分、710会議室

■ 理事、運営委員募集中

当会の平成29年度の理事会運営に、理事または運営委員としてご協力いただける方を募集しています。詳しくは事務局へお問合せください。

- ・問合せ先：npo.k.leader@gmail.com

・会・員・募・集・中・

当会は、学校や地域団体などでの環境学習を展開しており、次世代を担う子どもたちへの体験教室や環境イベント企画・運営業務が年々増加しております。環境活動に興味がある方、私たちと一緒に活動していただける方を募集しております。当会の活動内容は、ホームページをご覧ください。当会は、環境分野の7部会がありますので、興味に沿った活動ができます。入会申し込みは、右からホームページをご利用ください。



副代表理事 田口繁雄

(スマホ用)

■ 編集後記

COP21の目標を踏まえ、政府の地球温暖化対策推進本部は「Cool Choice」を旗印に国民運動を展開しており、気候変動キャンペーン「Fun to Share」も共有して展開しています。しかし、これら運動の展開が見えず、友人たちにクールチョイス知ってる？、と聞いても知らない人が多い。温室効果ガスの抑制、省エネなど低炭素社会づくりを目指した国民運動の盛り上がりが望まれます。 小林信雄



特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 「会報第97号」 2017年1月28日発行

■ 発行者：代表理事 柳川三郎 編集：広報部長 小林信雄

■ 所在地：〒226-0005 横浜市緑区竹山三丁目2番地4 竹山3201-134

■ Web：http://npo-k-leader.net/ ・ご連絡、お問合せ E-Mail：npo.k.leader@gmail.com

◆ 寄付・会費等納入口座：ゆうちょ銀行00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

★ ©不許複製：神奈川県環境学習リーダー会

ホームページ

Kリーダー会

検索